

伝承の村まつり・高千穂の夜神楽

平成30年度高千穂の夜神楽日程表

平成30年11月17日～平成31年2月9日(国指定重要無形民俗文化財)

| 整理番号 | 月日 | 曜日 | 地区(神社) | 公民館(小组) | 神楽宿 | 市街地からの距離(km) | 駐車台数 |
|------|-------|----|------------------------------|-------------|---------------|--------------|------|
| ① | 11.17 | 土 | オシカタ ナカハタ 押方(中畑) | 五ヶ村東(布平東) | 五ヶ村東公民館 | 6 | 50 |
| ② | 11.17 | 土 | イワト アマイワト 岩戸(天岩戸) | 下永の内(岩神下) | 下永の内公民館 | 8 | 50 |
| ③ | 11.22 | 木 | カミノ カミノ 上野(上野) | 玄武(栗原) | 玄武公民館 | 7 | 30 |
| ④ | 11.22 | 木 | カミノ ユノキノ 上野(柚木野) | 下組(岩坪) | 工藤 勝利 様宅 | 5 | 100 |
| ⑤ | 11.22 | 木 | シモノ シモノハチマン 下野(下野八幡) | 下野西(八幡) | 大賀 武重 様宅 | 7 | 30 |
| ⑥ | 11.24 | 土 | カミノ クロクチ 上野(黒口) | 黒口 | 黒口公民館 | 10 | 30 |
| ⑦ | 11.24 | 土 | イワト コリョウ 岩戸(御霊) | 上永の内(左目木) | 工藤 喜志子 様宅 | 7 | 100 |
| ⑧ | 11.24 | 土 | ムコウヤマ アキヒト 向山(秋元) | 秋元 | 秋元公民館 | 11 | 50 |
| ⑨ | 12.1 | 土 | ミタイ アイノメテンジン 三田井(逢初天神) | 下川登 | 下川登公民館 | 1.5 | 30 |
| ⑩ | 12.1 | 土 | オシカタ フタガミ 押方(二上) | 三原尾野 | 三原尾野公民館 | 5 | 30 |
| ⑪ | 12.1 | 土 | イワト トシ 岩戸(歳) | 五ヶ村(日向) | 黒木 浩展 様宅 | 7 | 200 |
| ⑫ | 12.8 | 土 | オシカタ タケミヤ 押方(嶽宮) | 上押方 | 上押方公民館 | 3 | 0 |
| ⑬ | 12.8 | 土 | イワト イシガミ 岩戸(石神) | 野方野(尾の上・下角) | 野方野公民館 | 8 | 50 |
| ⑭ | 12.23 | 日 | ミタイ イワシタダイゴンゲン 三田井(磐下大権現) | 浅ヶ部(梅木) | 浅ヶ部公民館 | 2.5 | 50 |
| ⑮ | 1.12 | 土 | カワチ クマノナルタキ 河内(熊野鳴瀧) | 中西(中村) | 田原出張所 | 13 | 40 |
| ⑯ | 1.19 | 土 | タバル ナガレオウケン 田原(流尾妙見) | 高岩 | 高岩公民館 | 12 | 50 |
| ⑰ | 1.26 | 土 | ムコウヤマ ツゲノタキ 向山(柘ノ滝) | 黒仁田 | 黒仁田活性化センター | 10 | 20 |
| ⑱ | 2.9 | 土 | タバル クマノ 田原(熊野) | 上田原(今狩) | 上田原公民館(なごみの館) | 10 | 50 |

※ 夜神楽は、午後2時頃の宮神楽、道行き神楽(御神幸)、舞入れ、御神屋始めに始まり、夜を徹して33番の神楽を舞い明かしますが、地区によっては多少時間や舞順が変わります。

※ 夜神楽の日程及び場所(神楽宿)は、毎年変わります。

[夜神楽の問い合わせ先] 高千穂町観光協会(0982-73-1213)
高千穂町役場企画観光課(0982-73-1212)

[天岩戸夜神楽33番大公開まつり]

日時 11月3日(土・祝) 10:00～22:00
場所 天岩戸神社 電話 0982-74-8239

[神話の高千穂夜神楽まつり]

日時 11月22日(木) 18:00～23:00
11月23日(金・祝) 10:00～23:00
場所 高千穂神社 電話 0982-72-2413

高千穂町の公式ホームページでも夜神楽情報を紹介しています。

<http://www.town-takachiho.jp/>

携帯電話用サイト

<http://www.town-takachiho.jp/i/>

地区によっては三脚(一脚)によるビデオカメラ撮影を禁止しているところがあります。ご注意ください。

夜神楽の「ふるまい」について

●夜神楽は秋の収穫感謝、冬の鎮魂儀礼、春の豊穰余祝を祈願する「氏神様の村まつり」です。高千穂の村まつりは、氏神様を里の神楽宿にお招きし、33番の神楽を夜を徹して奉納するのが、古くからのシキタリです。祭り風景のなかで、カッポ酒、煮物料理等のふるまいが紹介されていますが、「ふるまい」は、年に一度降臨された神々と里人が神人一体となる直会の儀式料理です。

●近年、本物志向から「村まつり」に参座される観光客の方々も年々増加し、交流として「ふるまい」をされる集落も増えていますが、その接待は神事儀礼の一環であり、村々の考えで行われています。

●お見えになった方々が、食事代として、初穂料・ご神前を供えられ、ふるまい料理を要求される事も多々ありますが、村各々のシキタリの中で接待されますので、ご理解いただきますようお願いいたします。